2967	154	題号不明	米澤吾亦紅	言語	鮟簀編眩ゆき沖を手にかばふ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	363	￥43	￥1	￥1	冬
2968	154	題号不明	米澤吾亦紅	言語	寒天干場厄除神の吹かれをり	2008	『俳句歳時記　第四版』	764	￥43	￥1	￥1	冬
2969	154	題号不明	米澤吾亦紅	言語	梟がふはりと闇を動かしぬ	2008	『俳句歳時記　第四版』	809	￥43	￥1	￥1	冬
2970	154	題号不明	米澤吾亦紅	言語	人の世の風が身を刺す寒牡丹	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	548	￥43	￥1	￥1	冬
2977	155	題号不明	保坂リエ	言語	人の目の優しさに合ふ室の花	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	545	￥43	￥1	￥1	冬
2997	156	題号不明	豊口陽子	言語	「かあ」とそれきり千年声を喪う鷹	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	480	￥43	￥1	￥1	冬
2998	156	題号不明	豊口陽子	言語	そら耳の憂さ白鳥を飼いならし	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	508	￥43	￥1	￥1	冬
2999	156	題号不明	豊口陽子	言語	一炊の夢たづさえて雪虫来	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	536	￥43	￥1	￥1	冬
3012	157	題号不明	豊田都峰	言語	いそいそと雑木林の冬はじめ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	22	￥43	￥1	￥1	冬
3013	157	題号不明	豊田都峰	言語	寒星や生者をしのぐ死者の数	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	80	￥43	￥1	￥1	冬
3014	157	題号不明	豊田都峰	言語	雲水と逢ひし日ぐれのひとしぐれ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	97	￥43	￥1	￥1	冬
3015	157	題号不明	豊田都峰	言語	山に雪くる日はひとりゐるとせむ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	116	￥43	￥1	￥1	冬
3016	157	題号不明	豊田都峰	言語	一体の風化仏より枯野なる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	135	￥43	￥1	￥1	冬
3017	157	題号不明	豊田都峰	言語	冬耕の果てのひと振り日を落とす	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	342	￥43	￥1	￥1	冬
3032	158	題号不明	北さとり	言語	蜜柑摘む隣りの山と声交し	2008	『俳句歳時記　第四版』	831	￥43	￥1	￥1	冬
3042	159	題号不明	北村仁子	言語	億劫なところより出す茎の石	2008	『俳句歳時記　第四版』	734	￥43	￥1	￥1	冬
3043	159	題号不明	北村仁子	言語	女弟子ふえて障子の小づくろひ	2008	『俳句歳時記　第四版』	743	￥43	￥1	￥1	冬
3044	159	題号不明	北村仁子	言語	棒立ちのものばかりなり火事の跡	2008	『俳句歳時記　第四版』	753	￥43	￥1	￥1	冬
3045	159	題号不明	北村仁子	言語	探梅行こころおぼえの橋わたり	2008	『俳句歳時記　第四版』	766	￥43	￥1	￥1	冬
3046	159	題号不明	北村仁子	言語	灯ともして闇のはじまる十夜寺	2008	『俳句歳時記　第四版』	788	￥43	￥1	￥1	冬
3056	160	題号不明	堀葦男	言語	とかくして風に聴き入る十二月	2008	『俳句歳時記　第四版』	670	￥43	￥1	￥1	冬
3057	160	題号不明	堀葦男	言語	脱ぎ捨てし足袋のふくらみ日脚伸ぶ	1962	『火づくり』	52	￥43	￥1	￥1	冬
3058	160	題号不明	堀葦男	言語	妻とある時のみじかさ花八ツ手	1962	『火づくり』	12	￥43	￥1	￥1	冬
3059	160	題号不明	堀葦男	言語	冬すみれ死後も一度は通る土手	2008	『俳句歳時記　第四版』	851	￥43	￥1	￥1	冬
3067	161	題号不明	本多静江	言語	静かなるもの耳に降り霙降る	2008	『俳句歳時記　第四版』	691	￥43	￥1	￥1	冬
3068	161	題号不明	本多静江	言語	笹鳴や磨きて覚ます杉の肌	2008	『俳句歳時記　第四版』	807	￥43	￥1	￥1	冬
3110	162	題号不明	茂惠一郎	言語	若狭路はこれからが大雪と聞く	2005	『二乃座』	177	￥43	￥1	￥1	冬
3111	162	題号不明	茂惠一郎	言語	雪起し白樺の幹ひびきあふ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	125	￥43	￥1	￥1	冬
3112	162	題号不明	茂惠一郎	言語	おのが影浮沈し枯野わたり切る	2005	『二乃座』	16	￥43	￥1	￥1	冬